

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
A1	歴史・文化遺産を守り、活かし、伝えます	歴史文化遺産が	市民や事業者の理解のもとに、貴重な財産として、適切に保存・活用され、伝えられている。	文化財課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●A1-1「文化財の活用」について、「入館者が全体的に減少している」という問題点の要因を「各施設の魅力を効果的に伝えられていないこと」としているもので、どのような周知活動を行うのか今後の方針を示すと良い。</li> <li>●A1-2「文化財サポーターの周知」について、U-サポを活用するなどして大学生にも広げていく必要がある。</li> <li>●個別施策A1-3「出島の運営」について、今後は、対岸の県庁跡地との連携が必要になってくるので、次年度からは記載すること。</li> </ul>
A2	まちなみ、自然を活かし、まちの質を高めます	市域全体が	まちなみ、自然等の地域の個性を活かし、魅力的になっている。	景観推進室	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●A2-1「良好な景観形成に係る助言・指導」の取組概要について、「助言を踏まえたデザイン等の誘導を行った」が指す内容が伝わらないので、具体的な記載を検討すること。</li> <li>●歴史的風致維持向上計画の策定については、取組概要に記載すべきである。</li> </ul>
A3	交流のための都市機能を高め、交流を促進し、賑わいを創出します	まちが	より多くの来訪者や市民で賑わっている。	観光政策課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●市とDMOの役割について、明確にしておくこと。</li> <li>●さるく参加者が右肩下がりになっているが、今後の在り方について、整理する必要があるのではないかと。</li> <li>●A3-2「国際観光客誘致促進」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を踏まえ、今後の方針を記載すべきである。</li> <li>●PRについては、オープンデータを活用していくことを検討してもらいたい。</li> </ul>
A4	国際性を豊かにします	市民が	国際交流や国際理解に積極的に取り組み、外国人住民とともに快適な環境の中で暮らしている。	国際課	Ab 目標を達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ab」については、所管評価のとおり。</li> <li>●A4-1「国際理解教育の推進」について、外国語指導助手(ALT)だけでなく、国際交流員(CIR)に関しても記載されるべきである。</li> <li>●A4-1「国際交流の機会と内容の充実」の今後の方針については、新型コロナウイルス感染症拡大に対応した内容を検討すべきである。</li> <li>●A4-2「やさしい日本語」について、市ホームページ上で掲載されるべき場所はトップページだが、現在は国際情報のページを経由しなければならないので分かりづらい。対応してほしい。</li> <li>●A4-3「外国人留学生に対する市有施設の入館料免除」などの長崎をより理解してもらうための取組について、今後の取組方針への記載が必要ではないかと。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
B1	被爆の実相を継承します	市民が	被爆の実相の継承を進めている。	被爆継承課	Cb 目標を一部達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Cb」については、所管評価のとおり。</li> <li>●B1-2「青少年ピースボランティアの育成」について、ボランティア自体は自己啓発や社会奉仕といった意味合いも大きいので、人を増やすための取り組みから、活動内容の充実を図ることで、人を集めるといった取り組みを検討していくべきではないか。</li> <li>●B1-3「家族・交流証言者の育成」について、問題点とその要因の解決につながるような今後の方針の記載があるべきである。</li> </ul>
B2	核兵器廃絶の世論を喚起し、平和な世界を創造します	国際世論が	核兵器廃絶を求め、更に拡大している。	平和推進課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。</li> </ul>
C1	交流を活かした地場企業の活性化と域内経済の循環を促します	地場企業が	地域資源を活かした魅力ある製品・サービスの開発により、域外からの来訪者や市民による売上を増やしている。	商工振興課	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。</li> <li>●住吉商店街は独自に取組みを行っているが、寄り添った形で連携しているのであれば記載していいのではないか。</li> <li>●C1-1「シュガーロードに関する取組み」について、例えば、ふるさと納税の返礼品のホームページなど多くの人が見るところで効果的にPRしてはどうか。また、他の部局のイベント等においてPRすることができればいいのではないか。</li> <li>●P3「シュガーロードに関する取組み」の問題点とその要因に、長崎街道8市で連携する「シュガーロード連絡協議会」が8市にまたがっているため統制がとりにくいとあるが、8市全体の意識が揃うのは難しいので、協議会の体制の見直しを検討してもいいのではないか。</li> <li>●P8「商店街・商店の賑わいの創出や魅力向上への積極的な取組みの推進」の問題点とその要因に、商店街の施設整備後の機能向上が図られていないとあるが、商店街の活性化とのつながりがわかるよう具体的に記載するべき。</li> <li>●個別施策C1-2について、商店街や商店は新型コロナウイルス感染症で売上減となっていると思うが、2月、3月の状況でどういう状況であったので、令和2年度に向けてこういう取組みをしているということを記載するとよいのではないか。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
C2	域外経済への進出を加速します	地場企業が	市場での競争力を高め、域外で売上高を増やしている。	商工振興課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●新型コロナウイルス感染症の影響がどうなのか、今後の取組方針に記載する必要はないか。</li> <li>●P2「地域資源を活かした魅力ある製品の開発促進」の成果と効果について、地域商社2社の取組みにより販路開拓、売上増につながったとあるが、地域商社の取組みを具体的に記載すると分かりやすいのでは。</li> <li>●地域商社2社がどれくらいの事業者と関わりをもってこの成果につながっているのか、その部分が施策的に重要なところなので、そこを成果として記載すべきである。</li> <li>●C2-1「優れモノ認証制度」について、メリットの周知より、メリットを増やすような取り組みがあれば応募も増えてくるのではないか。</li> <li>●C2-1「水産練り製品の販路拡大」について、販売戦略構築についての結果を記載し次年度につなげていくべきである。</li> </ul>
C3	地場企業の経営資源を強化します	地場企業が	安定した経営を行っている。	産業雇用政策課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●P2「IoT活用による生産性向上の取組みの支援」について、今後、人手不足も加速していく中で、生産性の向上は重要になってくると思う。事業者理解を深めてもらうための支援は説明を聞く限りにおいては弱い。これは人材が大事だと思う。職員で対応するのは難しいと思うが、コンサルティング等をする人材の獲得など、IoTを使いこなすための産業支援策を事業の組み立て方からもう少し考えなければならぬのではないか。</li> <li>おそらく5年10年でこの分野は発展していくと思う。長崎市としても光回線の整備を検討しているが、そういう背景にあるものをしっかり捉えて今後の展開をしていくべき。まさにここから勝負という認識が足りないのではないか。</li> </ul>
C4	新しい企業・新しい産業を創造し育成します	地場企業、創造企業又は誘致企業が	新たに事業に取り組み、持続的な企業活動を行っている。	産業雇用政策課	Aa 目標を達成しており、目的達成に向けて順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Aa」については、所管評価のとおり。</li> <li>●この施策は、「新しい企業・新産業を創造し育成します」という人口減少の中で期待される分野だと思うが、今後の取組方針に記載されている「D-FLAG」の入居や、誘致ということだけではなく、長崎市にどういった新しい産業が生まれる可能性があるかなど、まち全体の産業振興の大きな方針という大きな観点から今後の取組方針を記載できないか。</li> <li>●産学官連携について、「長崎サミット」で今後の10年のまちづくりの方針など議論されていると思う。サミットの今後の方向性、スマートシティ、society5.0時代に長崎がどうあるべきかをしっかり示して取り組んでほしいので記載してはどうか。</li> <li>●P9企業誘致について、従来型の企業誘致にとどまっている。ウイズコロナ、アフターコロナを見据えた記載をすべき。強みがあるので待ちではないスタンスを持って今後取り組むという考え方のもとに記載すべきである。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
C5	農林業に新しい活力を生み出します	農林業者が	安全・安心で新鮮な農林産物を安定的に供給し、経営が安定している。	農林振興課	Db 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Db」については、所管評価のとおり。</li> <li>●人農地プランや林業の計画などは、まさに制度自体がしっかり問題点を洗い出しをして翌年度の予算につなげるのが目的だと思うので、今後の取組方針にしっかり記載すべきである。</li> <li>●新型コロナウイルス感染防止の面で、地方移住、一次産業への回帰などのニーズ、マインドが高まるのではないかと。積極的に移住支援室と連携するべきである。</li> <li>●新型コロナウイルス感染症の次の展開で、ドローンの活用などスマート農業などのマインドが高まる可能性が非常に高いと思う。積極的に取り組んでいくというスタンスを持たなければならないと思う。</li> </ul>
C6	水産業で長崎の強みを活かします	水産業者が	安全・安心で新鮮な水産物を安定的に供給し、経営が安定している。	水産振興課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●スマート水産業の検討状況について、具体的なものがあれば今後の取組方針に記載するとよいのでは。</li> <li>●一番の問題点は水産資源が減少していることなのではないか。</li> </ul>
C7	地元農水産物を活かして食関連産業を活性化します	地元農水産物が	多くの人に認知され、消費の拡大が図られている。	水産農林政策課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●P12個別施策C7-2「ながさきの食材や食文化が市内外で認知度を高めている」の目的に対する主な取組みとして、食の博覧会等のイベントの開催、P18個別施策C7-3「市民が農業・水産業で理解を深めている」の目的に対する主な取組みとして「食卓の日の実施」となっている。目的に対してピンポイントで取り組んだようにしか見えないので、もう少し面的に考えてここが不足していたのでここを取り組んだとすべきである。</li> <li>●P3「地元農水産物が市内外で消費されている」については、多種多様な魚がある中でなかなか絞りきれないと言われているが、ピンポイントで例えば「刺身を食べて長崎に行こう」というようなイメージをつくっていくのも大事なのでは。素材そのもので長崎は売れる。「魚がうまい」そこをもっていくのがよいのではないか。</li> <li>●グリーンツーリズムについては、長崎に移住してくる可能性が高まる取組みだと思う。受入れ先を広げていくなど、まだまだ地域の中で広がっていきける可能性があると思うので連携して取り組んでいただきたい。また、昨年、今年とリーディング補助金で支援しているので、長崎創生推進室と連携して取り組んでいただきたい。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
D1	持続可能な低炭素社会を実現します	市民・事業者・行政等、すべての主体が	低炭素社会の実現へ向けて着実に取り組んでいる。	環境政策課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●D1-1「日常生活や事業活動の低炭素化」について、問題点とその要因に対応する今後の方針が例年の取組みだけであるので、これまでと違う工夫が必要ではないか。</li> <li>●D1-3「制度の充実による民間建築物の屋上や壁面等の緑化の推進」の問題点の要因として、維持管理の負担感によるニーズの減少をあげているのに、取組方針は制度PRとなっている。ニーズに対応できるような支援の強化が必要ではないか。</li> </ul>
D2	循環型社会の形成を推進します	市民・事業者・行政等、すべての主体が	ごみ減量・リサイクルに対する意識を高め、循環型社会の形成に取り組んでいる。	廃棄物対策課	Db 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Db」については、所管評価のとおり。</li> <li>●D2-2「廃棄物の適正処理」の取組概要について、旧西工場跡地をストックヤードとして活用することが、廃棄物の適正処理とどのように関係してくるのか、この記載内容だけでは分かりにくい。</li> <li>●D2-2「廃棄物の適正処理」については、PCB廃棄物の問題も記載があるべきではないか。</li> </ul>
D3	良好な生活環境を確保します	市民が	さわやかで澄んだ空気、清らかで健全な水環境に恵まれ、健やかに暮らしている。	環境政策課	Bb 目標をほぼ達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bb」については、所管評価のとおり。</li> <li>●D3-1「大気汚染状況の監視等」の問題点とその要因について、光化学オキシダントに対する直接的な対策は難しいが、周知の方法など市の役割の部分における問題点を示すことはできないか。</li> </ul>
D4	人と自然が共生する環境をつくりまします	市民・事業者・行政等、すべての主体が	自然と共生する社会の実現へ向け取り組んでいる。	環境政策課	Bb 目標をほぼ達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bb」については、所管評価のとおり。</li> <li>●P1「有害鳥獣による生活環境被害」について、被害が減少したとあるが、それは整備を実施したところであって、全体的な相談件数等は年々増加しているもので、市民感覚とのズレが出ないように、表現の仕方を工夫すること。</li> <li>●個別施策D4-2「自然と触れあう機会の創出」について、他施策からの再掲になると思うが、今後の取組方針についてはあぐりの丘の全天候型施設の動きも記載すると、全体的なつながりが出てくるのではないか。</li> </ul>
D5	環境行動を実践します	市民・事業者・行政等、すべての主体が	自ら環境について学び、あらゆる場所で環境行動を実践している。	環境政策課	Ab 目標を達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ab」については、所管評価のとおり。</li> <li>●D5-1「環境を学ぶ仕組みの整備」の今後の取組方針は、問題点とその要因に対応する多世代に向けた今後の取組を記載すべきである。</li> <li>●D5-2「サステナプラザながさき」の認知度について、問題点に対応するよう今後の取組方針を記載すること。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
E1	災害に強いまちづくりを進めます	市民が	減災への取組みにより安全に暮らしている	防災危機管理室	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●E1-1「河川・下水道（雨水渠）の整備」について、雨水渠の整備は長崎駅周辺に限ったことではないので、問題点とその要因及び今後の取組方針は、他の箇所も含めた市全体としての記載の仕方を検討した方がよい。</li> <li>●E1-2「自主防災組織の結成促進及び活動活性化」について、問題点の要因が自治会加入率の低下などであることから、結成促進を図るという表現では問題点の解決に至らないと捉えられるのではないかと。</li> </ul>
E2	消防体制を強化します	市民が	火災にあうことなく、安全・安心に暮らしている。	消防局総務課	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。</li> <li>●E2-1「火災予防対策の推進」の今後の取組方針について、斜面地を中心とした火災予防対策を推進することが、具体的にどういふことなのか記載があるといふ。</li> <li>●E2-2「消防団員の確保及び若い世代への消防団活動の周知」の成果として、増加した人数だけでなく、若い世代の比率の変化といった記載があると分かりやすいのではないかと。</li> </ul>
E3	犯罪のない地域づくりを進めます	市民が	犯罪被害にあうことなく、安全・安心に暮らしている。	自治振興課	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。</li> <li>E3-2「自主防犯活動の支援」の取組概要について、自主防犯団体の担い手は青色回転灯防犯パトロール活動団体だけと認識してしまう場合も考えられるので、表現の仕方を検討した方がよいのではないかと。</li> </ul>
E4	安心できる消費生活環境をつくります	市民が	安心して安全な消費生活を営んでいる。	消費者センター	Ad 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ad」については、所管評価のとおり。</li> <li>●E4-1「消費生活相談員による相談・苦情対応」について、今後の取組方針が問題点とその要因に対する取組みになっていない。国の担い手事業について、説明を追記しておくべきである。</li> <li>●E4-2「出前講座の実施」について、問題点を講師の不足と表現すると、学校向けの講座の問題点にも関わらず、出前講座全体の問題点のように捉えてしまうので、表現の仕方を検討すること。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
E5	暮らしやすいコンパクトな市街地を形成します	各地区の市街地が	自然環境を保全しながら、各地区の規模に応じた都市機能を充実させ、安全で暮らしやすく、効率的でまとまりのある方向に進んでいる。	都市計画課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●E5-3「斜面市街地再生事業」の今後の方針について、令和2年度より「くらしの道整備事業」も加わったので、「車みち整備事業」と関連して記載すべきである。
E6	安全・安心な居住環境をつくります	市民が	ライフスタイルにあった安全な住宅・建築物に、安心して居住している。	住宅課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●基本施策E6に該当する「住みよかプロジェクト」については、新たな重点プロジェクトであるため、次年度以降は実績等を記載すること。 ●E6-2「空き家・空き地の活用支援」の問題点とその要因について、成果指標をみる限り達成率9割は比較的良いと思われるので、今後は居住などの利用にどれだけつなげられるかという点に変化していく時期ではないかと思う。
E7	道路・交通の円滑化を図ります	市民が	道路や公共交通機関を安全で快適に利用している。	土木企画課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。
E8	安全・安心で快適な公共空間をつくります	公共空間が	安全・安心で快適に利用されている。	土木企画課	Bb 目標をほぼ達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	●基本施策の評価「Bb」については、所管評価のとおり。 ●E8-1「斜面市街地再生事業」の今後の方針について、令和2年度より「くらしの道整備事業」も加わったので、「車みち整備事業」と関連して記載すべきである。 ●E8-1「市有建築物の安全性・利便性の向上」について、学校以外の市有施設の今後の方針を可能であれば記載してはどうか。
E9	安全・安心な水を安定して供給します	水道水が	安全で安心して飲める水として安定的に供給されている。	事業管理課	Bb 目標をほぼ達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	●基本施策の評価「Bb」については、所管評価のとおり。 ●E9-3「未給水地区の解消」について、未給水地区を解消しないと施策の目的を達成できないという解釈もできてしまうが、要望のあった未給水地区については、「安心して飲める水」の提供に努めるということなので、表現について検討した方が良いのではないかと。

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
F1	人権が尊重され、様々な分野で男女が参画する社会を実現します	市民が	互いの人権が尊重された社会で暮らしている。	人権男女共同参画室	Cb 目標を一部達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	●基本施策の評価「Cb」については、所管評価のとおり。
F2	高齢者が暮らしやすい地域づくりを進めます	高齢者が	生きがいを持ち、地域で支え合い安心して暮らしている。	高齢者すこやか支援課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●先端技術の活用の検討について、今後の取り組み方針に記載するとよいのではないか。
F3	障害者が暮らしやすいまちづくりを進めます	障害者が	地域で自立した日常生活、社会生活を送っている。	障害福祉課	Ab 目標を達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	●基本施策の評価「Ab」については、所管評価のとおり。 ●P10「手話言語条例」について、平成31年4月1日施行後の変化について、成果効果があれば記載すべき。また、週刊あじさいに手話がついたことも記載すべきである。 ●P10、P11「障害者の自立支援」の中で「地域移行・定着支援事業」とあるが、地域がかかわってできることはないか。地域コミュニティが立ち上がり、その中で「ささえあいマップ」も総合事務所が入って一緒に取り組んでいる。地域で見守るということは地域コミュニティの役割でもあるため、地域として一体的に取り組むことが必要ではないか。
F4	安心して子どもを産み育て、子どもの健やかな育ちを図ります	子どもが	健康に生まれ健やかに育っている。	子育て支援課	Db 目標を達成していないが、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	●基本施策の評価「Db」については、所管評価のとおり。 ●評価が「D」となっていることについて、施策がダイレクトにつながる成果指標になっていないと思う。例えば、医療費の助成等、他都市と比較しても遜色ないほど取り組んでいると思う。次期計画になると思うが、成果指標に市民意識調査による「子育てしやすいまち」というようなアンケートの状況などを指標として設定するとよいのではないか。 ●成果指標「出生数」が減少していることについて、短期間で解決する数字ではないと思うが、次期総合計画を策定にあたっては、要因を分析したうえでどう組み立てていくかというのは必要だと思うので、今後検討していただきたい。 ●個別施策F4-2に「子育て世帯のウェルカム補助金」を創設したことを積極的に記載してはどうか。 ●個別施策F4-3について、「保育士の確保」が問題と聞いている。そのことについて記載がないが、問題点と考えるのであれば記載してはどうか。 ●P17「④放課後等における児童の安全・安心な居場所の確保」の問題点とその要因に「地域における人材不足」とあるが、その要因が何かわかるよう丁寧に記載すべきである。



令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
F5	原爆被爆者の援護を充実します	被爆者等が	安心して暮らしている。	援護課	Ab 目標を達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ab」については、所管評価のとおり。</li> <li>●P3成果指標「介護サービス等利用助成件数」について、実態とそぐわないのであれば成果指標を見直すべきである。介護サービスを利用している人の割合など次期計画では検討すべきではないか。</li> </ul>
F6	暮らしのセーフティネットを充実します	生活困窮者や生活保護受給者が	健康で文化的な生活を維持している。	生活福祉1課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●P9生活保護受給者の就労支援について、新型コロナウイルス感染拡大により景気が悪化している現状の雇用情勢では、離職者、雇止め等が大幅に増え厳しい状況になってくると思う。そういう中で非常に重要な事業になると思うので、新たな就労支援方法を検討するとともに、引き続き5つの取組みを組み合わせながら上手に取り組んでほしいと思う。保護率が高いことの分析は難しいが、先駆的な取組みにより、それを減らすための努力はしているということをアピールするため、今後の取組方針に記載すべきである。</li> </ul>
F7	自らすすめる健康づくりを推進します	市民が	心身ともに健康でいきいきと暮らしている。	健康づくり課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●P4「健康づくり推進員の育成」の問題点とその要因に「地域コミュニティと健康づくり推進員の連携の問題がある」とあるが、例えば、お祭りなどをする時に「健康づくり推進員が入るとこんなイベントができる」など、持ち込み方によっては連携ができると思うので、地域コミュニティ推進室としっかり話しをしていただきたい。</li> <li>●P8「受動喫煙防止対策の推進」について、令和元年7月1日から法改正があり禁煙ニーズが高まっていると思うが、P15の成果指標「喫煙率の減少」は前年度と比較してほとんど変化がないなど結果に結びついていない。今が取組みのチャンスだと思うので、結びつける事業を検討していただきたい。</li> <li>●新型コロナウイルス感染拡大防止の関係で、やり方が変わったり、新しい取組みなど検討しているものがあれば記載してほしい。</li> </ul>
F8	安心できる衛生環境を確保します	市民や観光客が	感染症や食中毒等の健康被害から守られている。	生活衛生課	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。</li> <li>●新型コロナウイルス感染症に対して、体制を整える必要があるとあるが、時点に応じて整えられてたと思われるので、更に充実を図る等もう少し前向きに記載していいのではないか。</li> <li>●F8-2「①食中毒予防の取組み」「⑤食品衛生検査の実施」は一緒にした方が分かりやすいのではないか。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
F9	安心できる医療環境の充実を図ります	市民が	安心して適切な医療を受けることができる。	地域保健課	Bc 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Bc」については、所管評価のとおり。
G1	次代を生きぬく子どもを育みます	子どもが	将来の夢や希望を自らの言葉で語り、実現に向けて努力している。	学校教育課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●P2新型コロナウイルス感染症の対策をされていると思うが、今後の取組方針に記載できないか。 ●P4「市学力調査の実施と教職員の指導力向上」の中で、「統合型支援システムの活用により勤務の効率化が進んだ」とあるが、時間外勤務の減少など数字で表せるものがあれば記載してはどうか。 ●P8「読書活動の推進」について、「絵本の引換え」の目的が、生涯にわたる読書週間につなげることと併せて図書館・公民館に足を運んでもらうことも目的としてあるのであれば記載してはどうか。 ●P8「キャリア教育の充実について」長崎商業高校でも取組みをしていたら記載してはどうか。 ●ICTの整備状況について、今年度完了するのであれば、整備したうえで今後どう活用していくかの取組方針に記載できるのではないかな。
G2	だれもが生涯を通じていきいきと学べる社会をつくりま	市民が	自ら学ぶとともに、学びを通して仲間づくり、地域づくりを行っている。	生涯学習課	Cc 目標を一部達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Cc」については、所管評価のとおり。 ●新型コロナウイルス感染症の影響で公民館や図書館の利用者数が減少したとある。公民館などの学習の場は大事なところだと思うので何らかの形で機会を提供することを検討し、充実させていく必要があると思う。問題点に記載しているので、今後の取組方針に、ウイズコロナの取組みを記載すべきではないか。
G3	スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	市民が	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	スポーツ振興課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。 ●P1成果指標「運動・スポーツの実施率」の実績値が低いが、市民意識調査の聞き方を変えて、細やかに聞くとよいのではないかな。 ●P4「各種スポーツイベントの参加者数が減少傾向」とあるが、その理由について、したいスポーツの多様化もあると思うので、要因分析を深めてみるとよいのではないかな。 ●P9成果指標「小中学生の国際・全国・九州大会出場に係る補助対象件数」について、実績値が減少しているが、新型コロナウイルス感染症だけが理由なのか、元々減少傾向なのかかわからない。新型コロナウイルス感染症の影響やそれ以外の状況などがわかるよう、表現方法を考え丁寧に記載したほうがよいのではないかな。

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
G4	芸術文化あふれる暮らしを創出します	市民が	芸術文化に親しみ、心豊かに生活している。	文化振興課	Bd 目標をほぼ達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Bd」については、所管評価のとおり。</li> <li>●G4-1遠藤周作文学館について、先日未発表作品のことが新聞等でも取り上げられたが、今後の取組方針に記載したほうがいいのではないかと。地方創生にもつながるので積極的に取り組んでいただきたい。</li> <li>●新しい生活様式を進めるなかで、IT技術を使った支援等の考えがあれば記載するとよいのでは。感染症対策を加えながらどのように取り組んでいくのか具体例を挙げ記載すると伝わりやすいのではないかと。</li> <li>●P12「文化事業を支援する人材の育成の取組み」の問題点とその要因に「若い世代をターゲットとした企画や情報発信ができていない」とあるが、若者をターゲットとした企画の説明を丁寧にするとわかりやすいのではないかと。</li> </ul>
H1	市民が主役のまちづくりを進めます	市民が	それぞれの役割を果たしながら、連携してまちづくりを進めている。	自治振興課	Dc 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Dc」については、所管評価のとおり。</li> <li>●個別施策H1-2「②市民力向上のための支援」について、「取組概要」、「成果と効果」、「問題点とその要因」の記載内容が連動していないことから、分かりやすく記載すること。</li> </ul>
H2	つながりあう地域社会をつくりまします	多様な主体同士が	お互いの強みを活かした役割分担のもと、いつでも協働の手法を使って、地域課題に取り組んでいる。	市民協働推進室	Ac 目標を達成しているものの、目的達成に向けた課題の克服などがやや遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「Ac」については、所管評価のとおり。</li> <li>●広報戦略についての記載がないことについて、広報戦略はアドバイザーを配置するなど新しい取組みをしつつ力も入れている。必ず記載すべきである。</li> <li>●個別施策H2-1「よかまちづくり基本条例」について、市民意識調査で81.4%が「知らない」という結果である。制度をつくったものなかなか市民の認知度が進まない。広報の仕方もあると思うが、長崎市の自治の基本となる条例なので、知るということが大事であるので、「職員をはじめ市民の認知が進んでいない」ことを問題点に記載すべきである。</li> <li>●個別施策H2-1「①提案型協働事業の取組み」の今後の取組方針に、「行政の事業や課題を周知する」とあるが、取組みを行う理由について具体的に記載すべきである。</li> <li>●広報戦略を策定したことを記載すべきである。</li> <li>●どの施策でも共通しているのが、周知不足や周知方法等が問題点として挙げられているように、長崎市政の大きな問題としてあるので、広報戦略ができて、戦略に基づいて広報していく必要があるということだと思う。H2-2の問題点とその要因として、「戦略に基づいた広報活動ができていない」という項目があるべきではないかと。</li> </ul>

令和2年度施策評価（令和元年度実施事業）評価結果一覧表

基本施策コード	基本施策	対象	意図	基本施策主管課	施策の進捗状況	施策評価会議で議論されたことや意見、その他特記事項
H3	市民に信頼される市役所にします	市役所が	自律的な行財政運営を行っている。	行政体制整備室	Dd 目標を達成しておらず、目的達成に向けた課題の克服などが遅れている	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本施策の評価「D d」については、所管評価のとおり。</li> <li>●今後の取組方針に「働き方改革」について、テレワークの検討とあるが、新型コロナウイルスの影響で在宅勤務等対応したと思うが、テレワークの検討が進んでいれば、記載を充実できないか。</li> <li>●H3-1「今後の取組方針」に記載の「時間外の上限設定」については、令和元年度に取り組んだ実績等について記載してはどうか。</li> <li>●今年度は、会議の仕方についてもテレビ会議を行うなど積極的に取り組んでいる。ICTの利活用につながるので今後の取組方針に記載するとよいのでは。また、文書管理システムの検討についても記載するとよいのではないか。</li> </ul>